

【議事録】2021 年 6 月 29 日 原子力学会遮蔽標準作業会 #31 会合

1. 日時：2021 年 6 月 29 日（火） 14:00-16:30

2. 場所：ATOX 柏技術開発センター、WebTEAMS のハイブリッド

3. 出席者：【敬称略：順不同】

【委員】（フジタ）木村（主査：一時通信不良）、（安藤ハザマ）奥野（幹事：15 時で退席）、（ATOX）*坂本（分科会主査）、*河野、（原安技センター）吉田、（日環研）大石、（大成建設）谷口、（日立 GE）竹生、（清水建設）小迫（一部中座）、（東芝 ESS）松山、（MHI）尾方、（NDC）*中田（副主査：文責）

【常時参加者】（CTC）鈴木（天野代理）

【オブザーバー】（北大）*中島

（*：ATOX 柏技術開発センターで対面参加）

4. 議事

2021 年 6 月 1 日開催の幹事会と材料組成 WG 会合を踏まえ、現在の標準検討方針、材料組成検討状況、全体工程修正の認識共有と共に、2021 年秋の原子力学会予稿確認、論理教育を実施するために、第 31 回作業会を実施した。

以下に、議事要旨を示す。

【会議資料】

①2021.06.29 原子力学会遮蔽分科会 遮蔽材料作業会 #31 会合議事次第：中田

②2021.06.01 遮蔽材料標準作業会 幹事会議事録(R0：追記版)：中田

③標準の考え方 20210531r2：中島氏

④-1_2021.06.25 材料組成WG会議事録(R1)：奥野幹事

④-2_20210629 打合せ資料：前中委員

⑤遮蔽材料標準大工程(案)#31 作業会用(R5)：中田

⑥C000390_遮蔽材料標準の策定について(18)予稿(R2)：中田

⑦2021 年度 倫理教育資料の利用について：坂本分科会主査

【議事要旨】

(1) 現状概要(中田：資料①、②)

本日の協議事項の紹介、6/1 幹事会議事において気乾組成とする方針変更と組成データ再度収集することの経緯等が紹介され、認識共有した。

(2) J-PARC での遮蔽設計の経験(中島氏：資料③)

3 月に開催された遮蔽設計法 WS と原子力学会 2021 年春の年会で、規定組成を絶乾組成とすることについて複数の反対意見があった。意見表明の一人である北大中島氏から、J-PARC の遮蔽設計時にあった絶乾組成と気乾組成の何れを採用するか議論の内容とその経験に基づく見解が紹介された。

(3) コンクリート組成検討方針(奥野幹事：資料④-1,2)

奥野幹事から 6/17 材料組成 WG の議事内容と、JASS5N の 65℃と 105℃の水分データの前中委員による整理結果が説明された。今後、温度制限値から理論的に自由水量を評価するアプローチを前中委員が行うとともに、事業者アンケートや“ふげん”の水分公開データ等の収集データも考慮して WG で総合的に検討する。

水分以外の組成については、これまで検討してきた組成を酸化物組成の観点で Si や Ca に置き換え単純化する検討成果を踏まえ、建築学会データが公表されなかったことによるデータ補充結果に基づき再検討する。

フジタ金野氏が採取した多量の分析データについては、木村主査が社内調査するとともに、J-PARC 建設時に JAEA がフジタにデータ収集を発注したことがありその時の資料の所在を中島氏が調査する(当時の JAEA 担当者に接触したところ退職時に廃棄したとのこと)。

東海発電所廃炉時のコア抜きによる水分量分布測定データは、東電殿と原電殿の受託研究報告書に含まれており、知的財産権保護に該当する恐れがあるため、田中委員(元原電)経由で公開を要請したが否の回答であった。

次の材料組成 WG は、7 月最終週で日程調整する。

(4) 大工程及び今後の活動計画案(中田：資料⑤)

今回の水分量見直しと組成データの再収集により規定組成検討の追加作業が必要になるため、作業は 9 か月遅れとなることの大工程案を説明し、共通認識とした。分科会、部会、標準委員会への説明・コメント反映の工程は、今後の作業状況を見て工程表を修正する。(工程表修正には極めて時間がかかるので、検討状況が見えてから工程表を修正することで合意。)

(5) 原子力学会 2021 年秋の大会予稿(中田：資料⑥)

6/24 修正レビュー依頼版について尾方委員からコメントがあり作業会全体で対応協議した。検討結果を河野委員がその場で修正し、作業会確認の上最終版とした。(中田にて 6/30 に登録差し替え済。)

(6) 倫理教育(坂本分科会主査：資料⑦)

坂本分科会主査が倫理教育を実施し、標準委員会教育資料のポイントを説明した。配布資料に記載された URL から資料を各自ダウンロードし、読んだ上で 3 つの「問いかけ」に対する回答を、1 週間程度で坂本と奥野幹事へ連絡することとなった。ダウンロードした資料は後日確実に消去すること。

5. その他

次回第 32 回作業会は、7 月末開催予定の材料組成 WG の結果報告を主体に、8 月上旬に開催する。日程は別途メールで調整する。

以上